

令和 5 年第 4 回定例会

(1 2 月 1 3 日)

一 般 質 問 資 料

(1 回 目)

自由民主党千葉市議会議員団
向 後 保 雄

令和 5 年 第 4 回定例会（12月13日）

2 回目から一問一答

通告時間：25分（37分）

こんにちは、

子どもたちに輝く夢と未来を！

高齢者には老後の安心を！

そして、創造豊かな市政への挑戦！をモットーに議員活動をしております、自由民主党千葉市議会議員団の向後保雄でございます

通告に従いまして一般質問を行います

1. ベイサイドジャズ2023千葉について

初めに、ベイサイドジャズ2023千葉についてです。今年のベイサイドジャズは、4月22日のエリアでジャズがハーモニープラザでの大原保人スーパージャズトリオの演奏を皮切りにスタートし、ジャズクルージング、中央公園での無料公開ステージ、スペシャル2 DAYS コンサートとすべてが予定通り実施されました。私もいくつかのイベントに参加いたしましたが、エリアでジャズの実施状況及び各会場の入場者数、並びに今回6区で実施したエリアでジャズの今後の課題について伺います。

2. 災害対策について

次に、災害対策についてです。

今後 30 年間で震度 6 弱以上の激しい揺れに襲われる確率が 70 % と予測されている「首都直下地震」ですが、先日もフィリピン付近を震源とする大地震があり、伊豆諸島の八丈島で 40 センチの津波を観測したほか、九州から関東にかけての太平洋沿岸や奄美地方などにも津波が到達したとのことです。このように地震、台風、洪水、津波、火災等の非常の事態が発生し、有線通信を利用することができないか又はこれを利用することが著しく困難であるときに人命の救助、災害の救援、交通通信の確保又は秩序の維持のために無線通信が必要不可欠です。以前第 2 回定例会で質問をしましたが、地域防災無線に関して、当時市役所と新宿中学校は MCA 回線での通話ができませんでした。中央区地域づくり支援課が 11 月 15 日にテストしたところ、なぜ依然できず今回出来たのか不明とのことです。通話ができたようです。新宿中学校付近は、災害時にはドコモが災害時の回線を設置すると思うので、ドコモで通話可能となるので心配ないと考えますが、他の地域で電波の弱いところについては、MCA 無線が通信できるかどうか心配です。設置当初、地域防災無線を配備した場所で、電波強度の弱い件数がどのくらいあったのか伺うと共に、そのような場所ではどのように対応しているのか伺います。

3. 新市民会館について

最後に、新市民会館についてです。すでに、公明党の代表質問、共産党の中村公江議員の質問で取り上げられてはおりますが、改めて質問をさせていただきます。

JR 東日本千葉支社跡地での新市民会館の取得額については、JR 東日本との当初の話では、120億でありましたが、物価高騰、建設資材の高騰によって、数倍になると漏れ聞いております。令和4年4月に基本設計、令和5年度に実施設計、令和6年度に施工し、令和9年度に開館の予定でありましたが、現状はどのようなになっているのか、JR 東日本との協議の進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。

以上で一回目の質問を終わります。ご答弁宜しくお願い致します。

＜答弁 1＞市民局長答弁

次に、ベイサイドジャズ2023千葉について、

本年の「エリア de ジャズ Live」の実施状況と各会場の入場者数ですが、本イベントは各区1か所を会場とし、

中央区では、蘇我コミュニティセンター・ハーモニープラザ分館で実施し、入場者数は80人、

花見川区では、花島コミュニティセンターで、38人、

稲毛区は、イオン稲毛店で、61人

若葉区は、都賀コミュニティセンターで、42人

緑区は、鎌取コミュニティセンターで、102人

美浜区は、美浜文化ホールで、75人 でありました。

今年度は2年目であり、会場の定員を満たしていないことが課題と認識しており、今後は積極的、効果的な広報はもとより、市民の皆様が来場しやすい場所の選定やより魅力的な開催内容などの検討をして参ります。

＜答弁 3＞市民局長答弁

次に、新市民会館の整備の現状と、JR東日本との協議状況、今後のスケジュールについてですが、

昨年度から、市民会館再整備の基本設計をJR東日本と共同で進めて参りましたが、本年春ごろ、JR側から社会状況や工事費の高騰等の課題を踏まえ、複合ビル計画の見直しを行いたいとの申し出があり、開館予定が当初より遅くなる見通しとなりました。

その後 9 月に、JR 側から複合ビル計画の検討内容や新たな配棟案が示され、現在、市において建設費の再計算や、JR 東日本千葉支社跡地や市有地で建設した場合との比較検証、今後のスケジュール等の検討を進めております。

< 答弁 2 > 危機管理監答弁

はじめに、地域防災無線の電波が弱い件数と対応についてですが、

地域防災無線を更新した令和 2 年度に、電波強度の確認を行ったところ、2 つの通信方式のうち、LTE 回線は使えるが、MCA 回線の強度が弱い場所が 11 箇所あることを確認しております。

電波の通信状況は周辺環境により変化することもあるため、より確実な通信ができるよう、今後は、敷地内の設置場所以外での通信状況を確認するなど調査を行ったうえで、設置場所や運用方法の見直しなどを検討して参ります。